

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 株式会社 ルネサスイーストン

上場取引所 JQ

コード番号 9995 URL <http://www.rene-easton.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大谷 浩美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 上野 武史

TEL 03-6275-0600

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	45,278	23.0	△907	—	△142	—	0	—
21年3月期第3四半期	36,815	—	69	—	214	—	93	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△0.01	—
21年3月期第3四半期	5.40	5.40

(注)前年同四半期実績については、合併以前の株式会社イーストンエレクトロニクスの実績を表示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	33,897	15,916	47.0	665.41
21年3月期	20,894	14,559	69.7	838.71

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 15,916百万円 21年3月期 14,559百万円

(注)前期実績については、合併以前の株式会社イーストンエレクトロニクスの実績を表示しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	43.1	△1,305	—	△315	—	△12	—	△0.50

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	23,929,200株	21年3月期	17,784,580株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	9,329株	21年3月期	425,822株
-----------	-------------	--------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	23,880,366株	21年3月期第3四半期	17,327,612株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

(注)平成21年4月1日に合併による新株発行を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としています。
実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における世界経済は、金融危機による歴史的なバブル崩壊から底入れし緩やかな回復基調が続いていると思われます。

日本経済は、世界経済危機による影響を最も深刻に受けましたが、当第3四半期累計期間における国内経済は、在庫調整の進展や公共投資の増加によって底入れし、景気は企業の生産活動を中心に持ち直しの動きが続いていますが、雇用・所得環境および設備投資は厳しい状態で、本格回復に向けた自律的回復には至っていない状況であります。

半導体市場におきましては、昨年11月の世界半導体売上高は1年2ヵ月ぶりに前年実績を上回り、9ヵ月連続で前月実績を上回りました。世界的な景気後退の影響で半導体売上高は前年割れが続いていましたが、半導体市場はパソコンなど個人向け製品の需要増が牽引し、本格回復に向かいつつあります。

このような状況のもと、株式会社イーストンエレクトロニクスと株式会社ルネサスデバイス販売とは、お互いの経営資源及びノウハウの有効活用による企業価値の向上を図るべく昨年4月1日付で合併し「株式会社ルネサスイーストン」として新しくスタートいたしました。新会社では合併による販売の効率化を推し進め、自動車関連分野、産業分野、民生分野、アミューズメント分野を中心に販売の拡大を図り、業績の向上に努めてまいりました。

当社グループでは、合併直後の第1四半期を底として、第2四半期から第3四半期と回復基調に転じております。

平成22年3月期 連結業績の推移 (単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	12,270	16,348	16,659
営業利益	△ 450	△ 286	△ 171
経常利益	△ 178	△ 24	61

当第3四半期連結累計期間の売上高は452億78百万円と前年同期から84億62百万円の増加(両社合算比では181億54百万円の減少)となりました。金融危機による世界景気の急速な悪化による半導体需要の減少が大きく影響し、両社合算比におきましては、産業・自動車分野など全ての分野で前年同期を下回る結果となりました。主な取扱品目別売上高では、集積回路が285億14百万円と前年同期から89億49百万円の増加(両社合算比では58億60百万円の減少)、半導体素子が41億73百万円と前年同期から1億10百万円の減少(両社合算比では31億51百万円の減少)、表示デバイスが99億88百万円と前年同期から13億63百万円の減少(両社合算比では75億59百万円の減少)となりました。

損益面につきましては、営業損失9億7百万円(前年同期は営業利益69百万円(両社合算では同1億25百万円))、経常損失1億42百万円(前年同期は経常利益2億14百万円(両社合算では同2億63百万円))、四半期純損失188千円(前年同期は四半期純利益93百万円(両社合算では同1億39百万円))となりました。

なお、合併に伴い「負ののれん」が発生しており、この償却により経常損失及び四半期純損失は5億28百万円減少しております。「負ののれん」は平成24年3月期までの3年間で均等償却することとしております。

(注)平成21年3月期第3四半期累計期間の株式会社ルネサスデバイス販売の数値は、独立監査人による監査は受けておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末(平成21年3月末)と比較し以下のとおりとなりました。

当第3四半期連結会計期間末の資産は13,003百万円増加(合併による増加 12,120百万円)し33,897百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が10,829百万円増加しております。

負債は11,646百万円増加(合併による増加 8,461百万円)し17,981百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が7,679百万円増加し、合併に伴う負ののれんが増加いたしました。(発生した負ののれん金額:2,115百万円)

純資産は1,357百万円増加し15,916百万円となりました。主な要因は、合併に伴う新株発行によるものであります。これにより自己資本比率は47.0%となり、時価ベースの自己資本比率は15.2%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当事業年度の連結業績予想については、平成21年12月10日に発表しました通期の業績予想の数値、売上高645億円、営業損失13億5百万円、経常損失3億15百万円、当期純損失12百万円に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 追加情報

① 賞与引当金

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を「未払費用」として計上しておりましたが、当第3四半期連結会計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を「賞与引当金」として計上しております。なお、前連結会計年度においては176,825千円を流動負債の「その他(未払費用)」に含めて計上しております。

② 負ののれんの償却に関する事項

当第3四半期連結累計期間において、合併による負ののれんを計上いたしております。
負ののれんは、3年間で均等償却しております。

③ 退職給付関係

当社は平成21年10月に被合併会社(旧株ルネサスデバイス販売)の退職給付制度を当社の退職給付制度に統一いたしました。この制度の統一に伴い、当第3四半期連結累計期間において、退職給付制度の一部終了が発生したため特別利益として退職給付制度終了益(150,605千円)を計上しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,169	686,651
受取手形及び売掛金	21,827,478	10,998,118
有価証券	40,177	40,153
商品及び製品	6,227,368	4,744,370
繰延税金資産	95,579	93,760
その他	240,806	492,270
貸倒引当金	△11,973	△3,245
流動資産合計	29,231,606	17,052,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,096,859	992,183
減価償却累計額	△640,467	△607,016
建物及び構築物（純額）	456,392	385,167
車両運搬具	31,790	31,790
減価償却累計額	△26,268	△24,459
車両運搬具（純額）	5,521	7,330
工具、器具及び備品	187,104	159,354
減価償却累計額	△130,942	△106,671
工具、器具及び備品（純額）	56,162	52,682
土地	1,367,884	1,337,584
リース資産	19,296	—
減価償却累計額	△2,894	—
リース資産（純額）	16,401	—
有形固定資産合計	1,902,362	1,782,764
無形固定資産		
ソフトウェア	187,854	66,668
電話加入権	11,701	8,056
無形固定資産合計	199,556	74,725
投資その他の資産		
投資有価証券	632,305	630,788
敷金及び保証金	513,915	782,048
繰延税金資産	1,240,887	419,523
その他	199,244	186,515
貸倒引当金	△22,150	△34,400
投資その他の資産合計	2,564,203	1,984,475
固定資産合計	4,666,122	3,841,965
資産合計	33,897,729	20,894,047

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,098,245	5,418,872
短期借入金	1,553,948	12,558
1年内返済予定の長期借入金	99,996	—
未払法人税等	27,293	6,720
賞与引当金	168,161	—
本社移転費用引当金	—	50,000
繰延税金負債	522	—
その他	691,839	630,018
流動負債合計	15,640,006	6,118,169
固定負債		
長期借入金	175,005	—
長期預り保証金	155,135	43,619
退職給付引当金	237,653	76,043
役員退職慰労引当金	97,166	97,166
負ののれん	1,586,317	—
その他	90,011	—
固定負債合計	2,341,290	216,829
負債合計	17,981,296	6,334,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,433,100	3,433,100
資本剰余金	5,001,443	3,652,920
利益剰余金	7,627,059	7,714,041
自己株式	△2,348	△96,980
株主資本合計	16,059,254	14,703,080
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,761	△14,143
繰延ヘッジ損益	—	46
為替換算調整勘定	△167,584	△129,934
評価・換算差額等合計	△142,822	△144,032
純資産合計	15,916,432	14,559,048
負債純資産合計	33,897,729	20,894,047

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	36,815,763	45,278,280
売上原価	33,759,651	41,830,881
売上総利益	3,056,112	3,447,399
販売費及び一般管理費	2,986,882	4,355,271
営業利益又は営業損失 (△)	69,229	△907,871
営業外収益		
受取利息	8,849	1,759
仕入割引	1,525	2,258
受取賃貸料	7,562	7,126
販売手数料	34,130	59,577
開発支援収入	57,279	49,554
負ののれん償却額	—	528,772
その他	52,390	140,032
営業外収益合計	161,738	789,080
営業外費用		
支払利息	51	7,635
手形売却損	1,416	797
売上割引	1,971	1,578
為替差損	7,935	12,743
その他	4,693	846
営業外費用合計	16,067	23,602
経常利益又は経常損失 (△)	214,899	△142,393
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,900	—
退職給付制度終了益	—	150,605
保険解約返戻金	13,709	—
特別利益合計	22,609	150,605
特別損失		
貸倒引当金繰入額	450	550
固定資産除却損	2,309	34,245
投資有価証券評価損	48,248	200,020
投資有価証券償還損	—	4,573
会員権評価損	4,191	—
損害賠償金	—	72,348
特別損失合計	55,199	311,737
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	182,310	△303,525
法人税、住民税及び事業税	40,677	38,122
法人税等調整額	48,105	△341,459
法人税等合計	88,783	△303,336
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	93,527	△188

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の著しい変動に関する主な理由として、平成21年4月1日に合併による新株発行等を行い、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,348,523千円増加し、自己株式が96,876千円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,001,443千円、自己株式が2,348千円となっております。